

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

684-725

事務事業名	愛宕蔵改修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	3	10	4	0
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	62 地域資源の資産化											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	必要	関連計画 21'いい環境プラン (景観保全施設・魅力ある中心街の都市景観の形成)		開連計画 条例等				
		事業期間	17	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	愛宕蔵	愛宕蔵改修・整備箇所数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
					1		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	1. 恒常的に保存していくための雨漏り・窓・入口の修繕。 2. 蔵や周辺の景観にふさわしい植栽や整備	改修・整備により活用可能となった面積(平方m)	18目標	0	最終目標	1395.38㎡	
			18実績	0	19目標	0	↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	
18目標				最終目標			
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	愛宕蔵は、県内でも最大規模の酒蔵であり、当地方の酒造産業の象徴的な歴史的建造物である。多くの歴史的建造物が大火で失われた旧市街地において、愛宕坂付近の景観形成に大きな役割を果たしている。 そこで、市民の財産として良好な状態で保存し、収蔵スペースとして利用するとともに、市民の文化財に対する理解を深めてもらうため、まちづくりや芸術文化など様々なイベントに活用できるよう必要最小限の改修を行う。 具体的な活用方法については、市民の皆さんとともに検討する。 愛宕蔵のメリット、デメリットについて メリット 歴史的な価値ある建造物 界限性と風情を残す愛宕町の中心 広大な延べ床面積約420坪 まちなか観光と一体的活用が可能 デメリット 坂道 駐車場が狭隘 アクセス道路が狭隘 住民の高齢化 愛宕蔵活用は、市による核施設の展開と基盤整備、民間資金の導入によるビジネスモデルの立案である。	庁内活用打合せを立ち上げ、関係部署を連携させた活用方法を検討する。その上で、愛宕地域や橋南公民館を中心に地域住民による愛宕蔵活用の検討を行う。 また、民間活力導入を検討し、有効活用策の模索を行う。	改修活用計画策定会議数	0
	18年度の実績	1. 検討会議の継続 2. ワークショップの開催 3. 導線の検討 4. 核施設とコンテンツの検討 5. 周辺開発計画の策定 6. 美術博物館分館(写真美術館)構想と収蔵庫構想の立案 7. クラフト工芸の拠点場所としての検討 8. フードビジネスの展開検討 9. 経営シミュレーションの実施 10. 資金導入方法の検討	改修活用計画策定会議数	3

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)	0	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	358
	トータルコストA+B	179	358

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	見出された地域資源は価値が顕在化し高まる。 価値が認知される。	活用できる状態の整った地域資源の数	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
	地域資源を知っている市民の割合	地域資源を知っている市民の割合	現状値	41.8	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>東京大学大学院伊藤毅教授(歴史建築学)の調査報告を受け協議の上、平成16年4月1日に喜久水酒造から歴史的建造物保存による良好な景観の保全を目的に無償譲渡を受けた。愛宕蔵は、県下でも最大級の酒蔵であり、内部に大きな空間を有している。保存に際し、使用しながら維持していくことは、愛宕蔵保存の意図を広く市民に理解して頂く機会を創り出すこととなる。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>恒常的に保存するには、雨漏りの対策や窓・入口の修繕が必要である。倉庫以外の活用を図るには、建築基準法・消防法の基準を満たした改修が必要である。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>地元愛宕町の青壮年会や地区公民館からどのような活用方法があるか、考えてみたいとの声がある。改修完了後は、地元を含め旧市街地活性化を視野に入れた活用が可能となる。丘の上の観光拠点の一つとしての考えもあり、平成18年第1回議会産業経済委員会でも有効活用の意見があった。</p>
---	---	--

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>愛宕蔵周辺に残る景観や環境の保全に必要な物と考えられる。</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地がありますか？	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>旧市街地の街並み保存と一体で考えることで、魅力ある街並みを形成することが期待できる。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>当初より愛宕蔵そのものを対象とした。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>建物は、使用していないと朽ちていってしまう。保存と活用は一体の物でなければならない。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>寄附の目的が愛宕蔵周辺の景観保全であるため</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)</p> <p>愛宕蔵に隣接する蔵の活用を民間で考えているので調整を図る。また、丘の上の活性化と一緒に周辺地域を含めて検討する。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>ほとんどの物が大火で焼失した旧市街地に残る景観として、丘の上の街並み保存と一体として考える必要がある。</p>		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>最低限の改修は利活用に不可欠である。しかし、ソフト事業は他部署との連携により、丘の上活性化事業と連動していくことで単体で行うこと効果を高める可能性あり。</p>
			効率性評価		
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>大火で失われた旧市街地の雰囲気を残す数少ない地域であり、街並み保存を含めた事業として妥当である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>民間団体(NPO)から、愛宕蔵周辺の活用を協力してやっていきたい旨の申し出をうけている。景観形成には、住民の主体的な活動が不可欠である。19年度計画に当たっては、庁内の合意形成に向けた会議と同時に民間団体・地域との連携を視野に入れる。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>脇坂門など歴史的建造物の活用・保存に対してどう取り組んでいくか。愛宕蔵の扱いと共に市として伝統的建造物の方針を作成する必要がある。</p>

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	